

防除情報(病虫害情報 号外 第5号)

平成30年7月2日
神奈川県農業技術センター

イネツトムシ(イチモンジセセリ)の防除適期は早まりそうです

今年の第2世代幼虫の孵化最盛日は、県平均では「やや早」(7月20日頃)の予測です(表1)。ただし、地域によって予測日が異なりますので、近くの観測地点の予測日を参考にしてください。なお、今後の気象変動によって予測日は変わる可能性があります。

[防除]

防除適期は、粒剤では孵化最盛日の5日前、その他の薬剤では孵化最盛日から5日後程度です。

各地点における孵化最盛日の予測は、表1のとおりです。薬剤の剤型にあわせて適期に防除を行ってください。

常発地では特に注意し、防除を行うようにしてください。

[防除薬剤]

| 薬剤名 | 倍率又は散布量(10a) | 使用時期及び回数 |
|----------|--------------|----------|
| パダン粒剤4 | 3~4kg | 30日、6回 |
| パダンSG水溶剤 | 1500倍 | 21日、6回 |
| スミチオン乳剤 | 1000倍 | 21日、2回 |

* 上記薬剤を飼料用米栽培に使用する場合は、次の対策に留意すること。

- (1)飼料用米について、出穂以降(ほ場において出穂した個体が初めて確認される時点以降をいう。以下同じ。)に農薬の散布を行う場合には、家畜へは糞糺りをして玄米で給餌すること。
(2)粃米のまま、もしくは粃殻を含めて家畜に給餌する場合は、出穂以降の農薬の散布は控えること。

表1 有効積算温度によるイチモンジセセリ第2世代予測孵化最盛日(2018年 6月29日現在)

| 地点 | 2018年予測日 ^{z)} | (平年比) | 平年値 ^{y)} | 観測地点の概要 |
|------------|------------------------|-------|-------------------|--------------|
| 横浜市中区 | 7/18 | (やや早) | 7/22 | 横浜地方気象台 |
| 海老名市中新田 | 7/19 | (やや早) | 7/23 | アメダス |
| 小田原市扇町 | 7/22 | (やや早) | 7/25 | アメダス |
| 藤沢市辻堂 | 7/21 | (やや早) | 7/25 | アメダス |
| 平塚市寺田縄 | 7/18 | (やや早) | 7/23 | 農業技術センター水田ほ場 |
| 厚木市七沢 | 7/22 | (やや早) | 7/27 | 自然環境保全センター |
| 県平均(6地点平均) | 7/20 | (やや早) | 7/24 | |

z:5月5日を越冬世代の蛹化最盛日(平成12年度神奈川県農林水産関係試験成績成果資料)とし、有効積算温度684.94日度に到達した日を予測日とした(江村・内藤 埼玉農試研究報告第43号:36-43(1988))。

y:過去10ヶ年の予測日の平年値

病虫害防除部 TEL 0463 - 58 - 0333

インターネット <http://www.pref.kanagawa.jp/docs/cf7/cnt/f450002/>

○ 農薬使用の際は、必ずラベルの記載事項を確認し、使用基準を遵守するとともに飛散防止に努めましょう。